

公益財団法人京都市芸術文化協会

令和4年度 事業計画

令和3年度策定の「中期ビジョン」実現に向け、引き続き「自主事業」「受託事業」「京都芸術センター運営事業」を実施し、令和5年度以降の京都芸術センター指定管理者として引き続き選定されることを目指すとともに、各事業をとおして文化芸術が人や社会に与える効用について他機関とも連携しながら検証を進めます。

また、組織運営を持続可能なものとし、適切に事業を推進するため、財務基盤の強化及び個人情報保護をはじめとするコンプライアンスを順守する組織体制の構築に引き続き取り組みます。

I 自主事業

1 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供

(1) 文化誌『藝文京』の発行

地域に根差した芸術文化を未来につなぐ視点で、寄稿や取材、対談、インタビューなどを通して、「京都」という土地のもつ歴史や伝統、人、文化芸術について広く調査し、記録します。また、当協会の活動やあゆみを紹介し、アーカイブ（保存記録）としての役割を担います。

(2) 協会ウェブサイトの運営

協会ウェブサイトを活用し、事業や会員催事情報の告知、活動レポートや資料の公開など、芸術文化や協会に関する情報を発信するとともに、オンライン上のアーカイブ（保存記録）としての役割を担います。

2 各種芸術文化事業の実施及び奨励

(1) 第73回華道京展（共同主催）

華道発祥の地である京都から華道界の連携を図り、市民文化の向上に寄与するいけばな展を、京都市、京都いけばな協会、(公社)京都市観光協会とともに実施します。

(2) 市民狂言会（共同主催）【後掲】

3 芸術文化に関する教育及び普及

(1) 藝文京芸術教室

子ども芸術体験教室及び一般向け体験教室の後継事業として、子ども・親子から広く一般を対象とし、芸術文化への興味や理解を深める生涯学習事業と位置付けます。

開催日	事業名称	講師及び対象	会場
調整中	藝文京芸術教室Ⅱ 分野及びテーマは未定	講師：協会会員及び京都芸術センター事業で連携するアーティスト 対象：子ども(親子)を含む一般	京都芸術センター (Webでの公開を含む)

4 芸術家等の育成及び顕彰

(1) 京都いけばなプレゼンテーション2022

「お稽古はじめ」の発信・文化交流の機会創出に取り組みます。

開催日	事業名称	内容・出演等	会場
6月 4, 5, 6日	京都いけばなプレゼン テーション2022	「お稽古はじめ」・「6月6日はいけばなの 日」をキーワードとし、「華やいだくらし 薔薇をいける」をテーマとするいけばな展 及び文化交流企画を検討中。 協力：京都いけばな協会	京都芸術 センター (Webでの 公開を含 む)

(2) 京都ビッグ・バンド・フェスティバル（共同主催）

開催日	事業名称	主催・出演等	会場
2月5日	第47回 京都ビッグ・バンド・ フェスティバル	主催：京都市、当協会 出演：京都府吹奏楽連盟所 属団体	京都コンサートホー ル大ホール

(3) 芸術家等の顕彰

当協会に所属する会員を対象とし、京都市芸術文化協会賞として、近年の芸術文化活動が特に顕著な方や、芸術文化の向上に多大の功労があったと認められる方を、また、同新人賞として、新進で活発な芸術文化活動が認められる方や、今後の芸術文化活動においてさらにその活躍が期待される方を、それぞれ表彰します。

5 その他会員関連活動

(1) 総会・懇親会

令和4年7月に会員総会を開催予定（会場：京都ホテルオークラ）。

同日同会場にて協会賞・新人賞表彰を行い、会員同士の交流を図る懇親会を開催します。

(2) 協会の魅力発信事業（広報）

芸術家による会員組織ならではの魅力を広く発信します。

協会の事業や役割を紹介するために情報の収集と発信、交流の場づくり等の取組を行い、公益財団としての強みを生かした寄付獲得に努めます。

(3) 【新規】藝文京サロン(仮称)

芸術家による会員組織ならではの魅力を高める取組として、テーマを設けて意見や情報の交換を行う交流の場を設定します。ホストやゲストを会員内外から迎え、幅広い分野が交流する場となることを目指します。

Ⅱ 受託・共同主催事業

京都を新たな魅力に満ちた文化芸術都市として創生することを目指して制定された「京都文化芸術都市創生条例」及びその具体的な指針となる「第2期京都文化芸術都市創生計画（平成29年3月策定）」等に基づく事業を受託及び共同主催し、当協会の広範な芸術家のネットワークと文化事業の実績、ノウハウ等を活用して事業を実施します。

1 市民狂言会（共同主催）【再掲】

伝統芸能である狂言を、楽しく気軽に鑑賞する機会を広く市民に提供するため、年4回、京都観世会館（会場）において開催します。（6月3日、8月19日、12月2日、3月3日）

※ 前売S席 4,000円 前売A席 3,000円 キャンパスパートナー1,500円（8月は高校生以下は500円） 年間席札S席 13,000円 年間席札A席 11,000円 *当日券は各500円増

2 学校教育をはじめ、あらゆる機会を通じた伝統的な文化芸術に触れる取組

(1) 文化芸術授業（ようこそアーティスト）（受託）

京都市内の小・中・総合支援学校、幼稚園、保育園（所）を対象に、伝統芸能から現代美術まで、多様なジャンルのアーティストを講師として派遣し、特別授業を行います。（約60校で実施）

(2) 伝統公演授業（ようこそ和の空間）（受託）

京都市内の中学生を対象に、和の文化を体感できる場所（能楽堂や歌舞練場等）において、伝統芸能を鑑賞する事業を実施します。（2公演）

(3) 教文伝統芸能シリーズ「能楽なう」公演（受託）

札幌市教育文化会館からの依頼により、伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィスが企画制作を担当し能楽公演を実施します。

開催日	内容	会場
7月20日	出演：深野貴彦（観世流シテ方）、和久荘太郎（宝生流シテ方）、茂山茂（大蔵流狂言師）ほか 演目：観世流能「葵上 梓之出 空之祈」、宝生流能「花筐」、大蔵流狂言「素袍落」	札幌市教育文化会館大ホール

3 伝統芸能文化創生プロジェクト（共同主催） 【後掲】

4 KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭2022（共同主催） 【後掲】

5 アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業（受託） 【後掲】

6 京都市文化芸術総合相談窓口（KACCO）の運営（受託）

文化芸術関係者の活動継続・再開に関する相談等に総合的に対応するため、令和3年度に京都芸術センター情報コーナー内に設置した総合相談窓口（KACCO）を継続して運営します。電話、メール、オンライン、対面等による相談受付、相談会の実施、講座やワークショップ等を企画し実施します。

7 京都市助成金等内定者資金融資制度融資窓口業務（受託）

Ⅲ 芸術文化活動拠点施設運営事業

京都における芸術文化活動拠点施設である京都芸術センターの運営を通して、芸術活動の支援、芸術文化情報の発信、芸術を通じた芸術家と市民等との交流を行うことで、芸術家や芸術関係者が連携して、京都における芸術を総合的に振興することを目的とする事業です。

当協会では、京都芸術センターが開設された平成12年4月から、京都市からの業務委託を受けてセンターの運営を行っており、平成18年度からは、地方自治法の改正に伴い、指定管理者として管理運営を行っています。

令和4年度は、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大状況をみながら、オンラインを活用した事業展開も視野に入れると同時に、日常的な創作及び発表の場であることを念頭に事業を継続します。

【活動センター機能】

1 伝統的芸術の継承・創造事業

(1) 明倫茶会

学術、芸術、文化、産業等の様々な分野で活動している方を席主として、趣向を凝らした茶会を開催します。(2回開催)

開催日	席主(案)
調整中	タニノクロウ(劇作家・演出家・美術家)、他

(2) 伝統芸能文化創生プロジェクト【再掲】

国立京都伝統芸能文化センター(仮称)の創設を推進するために、伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス(略称:TARO)を設置し、伝統芸能や文化に携わる他機関・組織、実演家、職人、研究者とリサーチを通してネットワーク構築を行います。また、文化庁や東京文化財研究所など構築したネットワーク先と連携し以下を重点的に行います。

ア 伝統芸能文化に係る相談・対応

イ 関係機関のネットワーク構築

伝統芸能文化をめぐる現状や課題を研究機関やネットワーク先と共有

ウ 伝統芸能文化の現代に適応した形での活性化

- ・ 伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム

伝統芸能文化の保存・継承・普及を目的とした共同プログラムを募集。共同プログラムの採択は1~2件予定。加えて過去に採択した共同プログラム、以下6件の事業実施を行う。また、年度内に中間報告会を開催する予定。

- ・ 十津川盆踊りの伝承・保存・活用発信

- ・ 新素材による鉦すりの試作と生産業者の探索

- ・ 見島のカセドリ蓑藁製作技術の確保計画

- ・ 古物重厚意匠糊地能楽扇の写し製作

- ・ 笛譜・唱歌制作による石見神楽の継承円滑化事業

- ・ 三味線音楽のScratch教材開発：常磐津節を通じて日本の伝統芸能に親しむための教育プログラムづくりとその普及の試み

エ 受託事業

教文伝統芸能シリーズ「能楽なう」

2 芸術家・芸術関係者育成事業

(1) 京都国際ダンスワークショップフェスティバル2022

ダンスアンドエンヴァイロメントと連携し、国際的に活躍する講師を招き、テーマを「Re: SHARE」としてダンスワークショップを実施します。クラスは、「オンラインのみ」、「講師はオンライン、参加者は会場で受講」、「会場で対面の受講」の3種類を設定し、開催します。

開催日	講師
4月29日～5月8日	アマンダ・ミラー (USA)、カティア・ムストネン (フィンランド)、東野祥子、寺田みさこ、北村明子、高嶺格、島田櫻、西嶋明子、秋津さやか、坂本公成+森裕子、きたまり、辻本佳、倉田翠、康本雅子、村上渉、野村香子 (以上日本)

ショーイング

開催日	内容	会場	料金
5月8日	北村明子クラス参加者によるショーイング	京都芸術センター	無料 *感染症対策のため スタッフと参加者の み鑑賞可能
5月8日	高嶺格クラス参加者によるショーイング		

(2) トラディショナル・シアター・トレーニング2022 (T. T. T.)

国内外の芸術家・研究者等を対象に、日本の伝統芸能である能や落語などに関する基礎知識・技術等を習得するプログラムです。

開催日	内容
7月～8月 (調整中)	能と落語の集中トレーニング。プログラムディレクターはマット・ショアーズ。参加者各コース8名程度。

(3) KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭2022【再掲】

国内外の実験的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を、新しい形の対話でつなぐことを目指す国際舞台芸術祭です。10月1日から10月23日まで、国内・海外から先駆的な作品を紹介します。

(4) Focus展「伊東宣明展」(仮)

開催日	内容
5月～7月	着実に制作・発表を続ける中堅アーティストに焦点を当て、個展形式で紹介するシリーズの4回目。2016年に京都市立芸術大学大学院を修了し、京都を拠点に活躍する伊東宣明を取り上げる。

(5) AC企画展 (仮)

開催日	事業名	内容
2月～3月	未定	アートコーディネーター発案による、骨董と美術の関係に着目する企画展。 出展作家：未定

3 先駆的・実験的事業

(1) ニュイ・ブランシュ KYOTO 2022

アンスティチュフランセ関西と共同でニュイ・ブランシュ(白夜祭)を10月1日に実施します。

4 制作・発表支援事業

(1) 制作支援事業(制作室使用者募集)

京都芸術センター制作室の使用者を公募し、審査のうえで1申請につき最長3ヶ月間無料で提供します。公募は年2回(3月及び9月)行います。

(2) Co-program2022

アーティストに制作費や制作室、発表場所を提供する等の創造支援事業として、京都芸術センターと共同で行う事業プランを公募し、選出した事業を実施します。

ア カテゴリーA:「共同制作」(公演事業)3件

実施時期	事業名	アーティスト又は団体名
8月	FURUMAI(仮)	額田大志×山下恵実
12月	ABITA project@京都(仮)	奥野美和
1月	musica s/tirring(仮)	日野浩志郎×中川裕貴

イ カテゴリーB:「共同開催」(展覧会事業)2件

実施時期	事業名	アーティスト又は団体名
調整中	あたかも、はじめからそうであったかのような(仮)	林修一
調整中	THE GARDEN(仮)	井上亜美

ウ カテゴリーC:「共同実験」(リサーチ、レクチャー、ワークショップ等)2件

実施時期	事業名	アーティスト又は団体名
9月/2月	篠田千明演出作品「Ruwatan」 (仮)ジョグジャカルタ公演に向けたワークショップインプログレス(トーク、展示)イベント	篠田千明
調整中	オリジナルの道具とその活用	tuQmo 池田精堂

エ カテゴリーD:「KAC セレクション」(公演事業/演劇、ダンス、音楽、伝統芸能等の舞台芸術の分野で発表に限定して支援を行います。)5件

実施時期	事業名	アーティスト又は団体名
6月	続・音で観るダンス ワークインプログレス 京都公演	田中みゆき
6月	Quantum Performances	N' SO KYOTO/ヤニック・パジエ
9月	第2回京都定期公演「花のみち」Vol.2	マルガサリ/大井卓也
10月	窪地	DANCE PJ REVO/田村興一郎

11月	John Cage 100 th Anniversary Countdown Event 2022 “Silent Window” (仮)	John Cage Countdown Event 実行委員会
-----	--	---------------------------------

(3) U35創造支援事業「KIPPU」

京都芸術センター制作室で制作し、ロームシアター京都ノースホールで発表する35才以下のアーティストを公募し、選出した2団体を対象に支援を行います。批評の依頼や制作面のアドバイスも行います。

実施時期	採択アーティスト・団体	内容
4月～5月	敷地理 (東京・京都) *令和3年度から延期分	公演「Hyper Ambient Club」(コンテンポラリーダンス・美術等複合)
11月～12月	空間現代 (京都)	新曲ライブ (現代音楽)
11月～2月	合田団地 (京都)	新作公演 (現代演劇)

【情報センター機能】

1 芸術文化情報の収集・発信事業

(1) 図書室の運営

京都芸術センター主催事業のアーカイブ及びそれに準じる芸術文化に関する資料の収集と保存を主な目的とし、センターならではの資料室としての役割を強化します。

蔵書のうち、目的に見合う図書等約5,000冊、ビデオ等約500本を選択のうえ、閲覧に供し、京都芸術センターで実施する展覧会や公演会等の題材をテーマにした特別企画も開催します。

(2) 情報コーナーの運営

芸術文化に関するイベント情報等のポスター、チラシ等を収集し、年間約700種を掲出します。

(3) 京都芸術センター・メールニュースの発行

京都芸術センターにおける各種事業を告知するメールマガジンを配信します（毎月配信）。

(4) 京都芸術センターウェブサイト

京都芸術センターの施設案内、イベント情報等を発信します（セキュリティ向上及びアーカイブ機能の拡充を目的としたリニューアルを予定）。

(5) 京都文化芸術オフィシャルサイト（KYOTO ART BOX）

京都市の文化芸術全般の情報を集約したウェブサイトを運営します。平成27年度より京都芸術センター事業として実施し、京都文化芸術コア・ネットワークとの連携をはかり、プロジェクトやメンバー実施事業のレポート等を掲載しています。

2 教育普及事業

(1) 鑑賞支援プログラム

アートコーディネーター発案による、市民への芸術センターの認知度向上及び活動（作品）理解を図る講座等を開催します。※明倫ワークショップとの連携も検討。

(2) インターンシップ・プログラム

事業単位で募集を行い、より専門性を高め、経験や知識を習得できる機会となるよう実施します。

【交流センター機能】

1 国際交流事業

(1) アーティスト・イン・レジデンス (AIR)

国内外の組織と連携し、京都での滞在制作やリサーチ、また京都を拠点とする芸術家等の海外での滞在制作やリサーチ等を積極的に進める事業を実施、支援します。

ア 【京都での滞在制作】

滞在期間	参加者名	居住国/ジャンル	区分
7月～8月	Pa. LaC. e *2021年度から 延期分	スイス/美術・建築・デザイン	公募 (ビジュアルアーツ部門)
9月～10月	Jenna Lee *2020年度から 延期分	オーストラリア/工芸・美術	エクステンジ/ARTSPACE (シドニー)
未定	未定	未定/パフォーマンス	エクステンジ/ADAM

イ 【海外での滞在制作】

滞在期間	参加者名	渡航先/ジャンル	区分
6月～7月	未定	ケルン/美術	エクステンジ/Quartier am Hafen
8月	小松千倫	台湾/パフォーマンス	エクステンジ/ADAM
冬期	石黒健一	シドニー/美術	エクステンジ/ARTSPACE (シドニー)

(2) アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業【再掲】

全国のアーティスト・イン・レジデンス (AIR) の拠点となるためのプラットフォームを構築し、国際文化交流をより一層加速させ、世界中からアーティストやAIRの情報が京都に集まる環境整備を進めます。

ア 情報集約・発信

これまでにネットワークを構築したAIR施設等の情報をまとめたデータベースを活用し、日本のAIR情報を一元的に世界に向けて発信するウェブプラットフォームを運営します。

イ 調査研究・AIRに関するアーカイビング

AIRプログラムの事例を調査し、紹介するほか、日本、世界でのAIRに関する議論を深めアーカイブ化します。

ウ ネットワーク構築

AIRに関する様々な相談に応じるための窓口機能を設置します。

2 市民及び芸術家相互の交流事業

(1) 明倫ワークショップ

制作室使用者が市民との交流事業を行うワークショップを無料で実施します。なお、

年2回程度集中して実施する時期を設け、市民が制作室の様子を見学することのできる「オープンハウス」を実施し、京都芸術センターの周知を図ります。

(2) 藝文京芸術教室【再掲】

3 地域・学術・産業との連携事業

(1) ボランティア・スタッフ

ボランティア・スタッフは、京都芸術センターの活動をさまざまなかたちで支えています。また、ボランティア・スタッフによる有志の自主的活動である、京都芸術倶楽部や古典芸能勉強会、茶の湯サロンいっぷくなどの実施を通じて、京都芸術センターとボランティアの方々との交流をさらに深めます。※ 登録者数:192名(令和4年3月1日現在)

(2) サポーター(友の会・協賛会)

『芸術の現場』の活動、京都の若い芸術家たちの活動を知り、応援したいという方々からの支援をお願いしています。会員特典として、主催事業招待券や、京都芸術センター通信を送付します。

- ・京都芸術センター友の会

(会費) 個人会員10,000円、学生会員5,000円、団体・法人会員50,000円

- ・京都芸術センター協賛会

(協賛金) 個人会員10,000円以上、団体・法人会員50,000円以上

* 寄付金控除等、税制上の優遇措置の対象となります。

(3) 地域との連携事業

開催日	事業名
4月8日	ペトロフ・ピアノコンサート (主催)明倫ペトロフの会、明倫自治連合会
11月(予定)	明倫フェスタ (主催)明倫自治連合会

4 ネットワーキング

(1) 京都文化芸術コア・ネットワークの運営

京都を中心に文化芸術を支える専門的活動を行う者が、多種多様な情報を収集、編集、発信するため、情報交流のプラットフォームとしての京都文化芸術コア・ネットワークを運営します。メンバーが企画実施するプロジェクトや月1回開催するサロンのサポート等を行います。

(2) パートナーシップ/ネットワーク

京都市内外の他機関とのパートナーシップにより連携機能を強化し、幅広いネットワークを構築することを目指します。

※連携機関: 東山アーティスト・プレイスマンツサービス(HAPS) 実行委員会等